



29 創立 1984.7.10/認証 1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閘園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：大閘園
会長：菊井 康夫/幹事：山崎 修一/SAA：中桐 康博
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



本日の例会

〈第1357回〉2012年11月20日(火) 本年度第19回

卓 話

中国事情とその裏話

講師：中国西安交通大学
教授 河合 武 氏

担当：小山会員

■ロータリーソング
町に灯を

■ランチタイムミュージック

次回の例会

11月27日(火)

次回卓話

長期計画について

担当：広瀬特別事業部門理事

前回の報告

会長インフォメーション ＜PRESIDENT INFORMATION＞

会長：菊井康夫

「国際交流のつどい」について

我が大阪鶴見ロータリークラブは、1989年(平成元年)9月、「鶴見区民まつり」に初めて参加し、その翌年から、区民祭りの後の同日の夜に「国際交流のつどい」を始めています。昼間の区民まつりでは「国際交流コーナー」を設けて、そこでロータリアン、関西国際学友会日本語学校(現大阪日本語教育センター)の学生、青少年交換学生、ホストしている米山奨学生が共に働き、地域社会とのふれあいを深めてきました。そしてその日の夜には、昼のメンバーがそのまま「国際交流のつどい」の催しに出席しパーティを行うことを、伝統として23年間続けてきました。

しかし本年からは、慣例となってきた趣向をがらりと変え、「国際交流のつどい」の催しを鶴見区民まつりの催しとは別な日に実施して、会員の労力と精神力を「国際交流のつどい」に集中させました。しかも催しの内容を大幅に改めました。今までは大阪日本語教育センターで行っていた日本語作文コンクールの表彰式を、同センターでは受賞者の発表式にとどめ、「国際

交流のつどい」の場で受賞者13名の表彰式を実施すると共に、上級の最優秀賞作文を受賞者本人に読んでもらって、参加している青少年交換学生に日本語力の目標や励みにして貰いたいと思っています。

その後のパーティをどのような内容にするかについても、新世代奉仕の視点を取り入れるために、ロータリアンとローテックスとが事前に綿密な打ち合わせを行いました。その結果、ローテックスの主導のもとに、青少年交換学生と大阪日本語教育センターの留学生が相協力して、得意なデザートを作ってパーティに供してくれると共に、国際交流が図れる催しをプロデュースしてくれます。こうした人たちのアイディアと努力によって、「国際交流のつどい」が従前とは趣が異なって、若者感覚に満ちた催しとなり、留学生だけでなく、ご参加いただいた皆様方全員に喜んでいただける催しとなることを期待しております。

最後にこの催しを企画し実行して下さった関係者各位の皆様のご努力に感謝申し上げます。この催しによって、我が大阪鶴見ロータリークラブが誇りとしている「国際の鶴見」の名が、一層高められることを望んでおります。

簡単ではございますが、私の会長挨拶とさせていただきます。

ロータリー財団月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「飛躍”その礎を”」

作文コンクール

第19回日本語作文コンクールの開会あいさつ

紹介いただきました大阪鶴見ロータリークラブの会長の菊井でございます。開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。



まずは受賞された13名の皆様にお祝い申し上げます。本日受賞された13名の方々は、この学校のお隣の国際交流センターホテルで11月17日に行われる大阪鶴見RC主催の国際交流の集いにご招待いし、パーティーにも出ていただきます。その場でこの13名の方々の表彰式を行うと共に、上級のも優秀賞を受けられた方に作文の朗読もしていただきます。

日本語作文コンクールは、今の大阪日本語教育センターの前身である関西国際学会日本語学校の学生の日本語力を高めるために大阪鶴見ロータリークラブが主催者となって始めた行事で、1994年から始まって今回で19回目になります。

私も過去の作文審査に携わったことがありますが、日本に来てわずかの期間しか経ってないのにこんな立派な日本語の作文が書けるのかと驚いたことがございます。また、その審査の際感じたことですが、表彰された人もされなかった人もその実力の差は紙ひとえの差であるという感想です。私が一番と思った人も他の審査員はそういう評価ではなく、その反対もありました。したがって受賞された方々の作文は素晴らしいのは当然として、受賞されなかった人も素晴らしい作文を書かれ実力がある人は多いと考えていいと思います。

ここにおられる方々は、この大阪日本語教育センターで日本語を勉強されて、更に日本の大学等で勉強を重ねて、将来は自分の国を担い、世界をまたにかけて、日本語を駆使して活躍されるだろうと思います。その日が確実にくることを私は確信しております。

最近思うことは、日本の若者が内向きで海外留学が下火になっていることは気になるところですが、それはさておいて、これからも日本語の勉強に精進して下さることをお願いして、簡単ですが、私の挨拶とさせていただきます。

卓 話

国際交流のつどい

担当：新世代奉仕委員会 井上修一

今年度の新しい試みの一つとして、交換留学生たちがお国自慢のスイーツを参加者の皆さんにふるまうという企画をしました。



当日、貸し調理室の都合で9時半から12時までという制限時間の中で、思いがけないアクシデントもありましたが、ローテックスの機敏な協力も得て無事皆さんに試食して頂くことができました。

あっと言う間に売り切れるのを見て、関係者の努力が報われる気がしました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

 国際奉仕委員会

委員長：秀島博規 



去る11月17日(土)午後6時から2012～13年度の国際交流のつどいを執り行いました。

高島ガバナーをはじめ来賓の方々や交換留学生とホストファミリー、日本語教育センターの留学生、ローテックスのメンバー、米山奨学生と多数のご参加を頂き、当クラブのロータリアンとご家族を合わせ総勢88名の盛会でした。

今年の新機軸として菊井会長の発案により、当クラブの国際交流基金で例年行っている作文コンクールの入選者発表と表彰、及び最優秀作品の朗読が行われました。

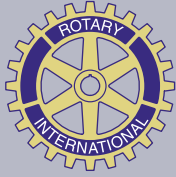
また、新世代奉仕委員会の企画で留学生とローテックスによるお国自慢のスイーツが提供されました。アトラクションも日本語教育センターの留学生や交換留学生の歌と踊りが盛り沢山で、参加者全員が楽しめたようです。

国際交流のつどいは、従来は鶴見区民祭りの開催日の夕刻から実施していたのですが、本年度は独立の行事として別の日を設定しましたので戸惑いも見られたようですが、結果として大いに盛り上がり無事に開催できたことは、関係各位の熱意のたまものと言えるでしょう。



前回の出席報告		(11月17日 1356例会)
会員数35名	ビジター	0名
(内出席規定免除 3名)	ゲスト	0名
出席会員 32名中 25名	出席総数	25名
出席免除会員 3名中 0名	前々回 10/23 M/U21名	
出席率 25/32 78.13%	修正出席率	93.94%

担当：笹野会員



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四のテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY,
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.
From North to South, from East to West
They profit most, Who serve the Best
R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むところは平和親睦
力むところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー